



8月18日、子育てセンターなかよしで、JA高知病院小児科の本浄護士医師を招いて子育て講座が開かれ、乳児の保護者ら26人が受講しました。

この講話は、保護者に子どもの病気に対する知識を持ってもらい、夜間等に子どもの具合が悪くなくても慌てずに病状をみて受診できるようにと、県の小児救急医療啓発事業と連携して実施されました。

当日は、本浄医師から発熱、けいれん、風邪や感染性胃腸炎の話、急いで受診しなければいけない場合の病状や、こどもの事故予防などについて丁寧に説明がありました。参加者には好評で、分かりやすく参考になった等の感想が寄せられました。

子育てセンターでは、今後も子どもたちの健やかな成長を願い、子育て講座などさまざまな取り組みをしていきたいと話しています。

8月2日、香北体育センターで、『学校林・遊々の森』全国子どもサミットin四国が開かれ、四国を中心に全国から11校32人の小学生が参加し、香美市からは大栃小学校が参加しました。

このサミットは、四国各地や全国から集まった小学生による学習・体験活動の発表や先生方の意見交換などを行い、これらの情報発信を通じて、森林作りの大切さの輪を全国に広げていこうと開催されました。参加した児童は、発表のほか、積み木遊びや木工クラフトづくり、紙すきなどを体験しました。



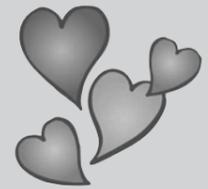
8月5日、土佐山田町角茂谷の穴内川の川原で、鮎の試食会が行われました。

この試食会は、「世代間の交流を図りながら子どもたちに川へ関心や、親しみを持つきっかけになれば」と、嶺北漁業協同組合と繁藤地区振興協議会の共催で行われ、4月に放流した鮎(6月号掲載)の試食を行い、繁藤小中学生24人など約50人が参加しました。15cm~20cmに成長した鮎を川原で焼き、子どもたちは美味しそうに食べていました。また、主催者から、川の汚染・水量不足・水の危険や川への愛護心などについて話があり、参加者は熱心に聞いていました。



8月15日、佐岡小学校で、昭和37年度の同校卒業生17人が集まり、校庭の大銀杏(おおいちょう)の下で、在学中歌えなかった校歌を在校生とともに合唱しました。同校の校歌は太平洋戦争が始まった昭和16年から、国の統制で歌唱を禁じられたと考えられ、昭和42年まで26年間歌われませんでした。歌い終えた卒業生は、すがすがしい表情を浮かべていました。

# ともに歩んだ50年 第52回金婚夫婦祝福式典



結婚して50周年の金婚夫婦を祝福する『第52回金婚式』(高知新聞社主催)が9月1日、県内6会場で開催され、約600組が祝福されました。

今年金婚を迎えたのは、昭和34年1月1日から同年12月31日までに婚姻届を出されたご夫婦です。香美市からはグレース浜すし(南国市)で開催された式典に18組のご夫婦が出席し、祝福されました。

式典では、この50年をつづったビデオ(高知新聞社制作)が上映され、出席したご夫婦は、苦楽を共に過ごした日々を思い起こしながら、感慨深げに鑑賞されていました。



香美市の出席者を代表して前田芳男さん、シゲ子さんご夫婦(物部町)に市長から記念品が贈呈されました。

- 香美市からの出席者 (18組)
- 物部町
    - 小松 昇・喜美子
    - 前田 芳男・シゲ子
  - 香北町
    - 岡村 忠博・恵枝
    - 日和佐 寿孝・緑
  - 土佐山田町
    - 前田 和男・里美
    - 一円 延夫・豊子
    - 門田 武雄・博子
    - 上島 章児・稔於
    - 黍原 晋・光喜
    - 武樋 圭二・登志子
    - 西村 賀喜・嘉江子
    - 島山 年雄・千江
    - 平石 繁昌・富美
    - 若江 隆三・真知子
    - 前田 寛・敏
    - 三谷 仁志・千鶴
- ※同意をいただいた方のみ掲載しています。

